

ふるさとへの愛着、誇り ～生まれ育った若者たちが帰ってくるために～

＜郷土愛、誇り、ふるさと教育などに関する各種会議での御意見＞

〔鳥取創生チーム拡大会議（H30. 6. 4 開催）〕

…地方創生に取り組む鳥取県の指針「元気づくり総合戦略」の進行状況を県内の産業界、高等教育機関、金融機関、労働団体、メディア、自治体など各機関の関係者が検証する会議

- 人口問題を長期的に考えた場合、大切なのは学校教育だろう。専門科目を設けるなど、鳥取の良いところをぜひ小中学生に教えていただきたい。
- 「鳥取学」を小中学校でしっかりやってもらいたい。そういう学生が帰ってくるといい。
- 小中学校で「まち未来科」という地域教育を実施しているが、高校では途切れてしまう。高校に入ると途端に町に情報がなくなる。そんな中でも高校生のサークルができて、若者同士が話し合う場があり、いい感じになってきている。じっくりとした地域教育を高校の時にやってもらいたい。
- 鳥取の良さを我々大人が自覚して大事にしていくことが大切だと思う。お金ではなく、鳥取で楽しくやっている姿を見せていかないといけないと感じる。
- 皆、鳥取には何も無いと口を揃えて言うが、何も無いのではなく、鳥取の良さを知らないということ。自分は、高校のキャリア教育で県のために何かしたいと感じ、県内大学に進学した。若い頃から見たり聞いたり感じたりする機会をつくる必要がある。

〔鳥取県総合教育会議（H30. 6. 11 開催）〕

…知事、教育委員会及び民間有識者委員が、民意を反映した教育行政の推進を図るため、課題や施策の方向性等を共有し、協議する会議

- 地域でお年寄りだけが住んでいて、若い人は多くの人が都市部に出てしまい、定年になってももう都市部に家を構え家族もいて戻ってこれない、帰ってくる見込みがないといったお宅が増えてきている。家を継ぐ、家業を継ぐという意識、習慣が薄らいできている。こちらにある家は消えていくしかないという、何か非常に寂しい状態が広がっている。
- 田の水を引く知恵や石積みの技術だとか延々と続いてきた地域の技術や営み等伝統文化をきちんと受け継いでいくことが、これからのふるさと教育をつなげていくためにもとても重要であり、それらの地域資源を鳥取の強みとしていけば文化財の保護や高校の魅力化とかいろんな場面に鳥取のカラーがでてくる。

〔「来んさいな 住んでみないや とっとり」県民会議（H30. 5. 17 開催）〕

…都会から鳥取県への移住定住を県民一体となって推進するための産学官金労言の代表者会議

- 子どもの頃から鳥取を大事にし、鳥取に誇りを持つことにつながるような取組が必要だと思う。今自分が住んでいる鳥取県に誇りを持つという思いが小さい時からずっと心の中にあれば、いずれは帰ってくるのではないか。